

ふなばしアートコレクション スクール・プログラム 2019



平成 29 年船橋市出張美術展（船橋小学校）

船橋市には、市ゆかりの芸術家の美術作品を中心に約 500 点の
アートコレクション（所蔵作品）があります。

このアートコレクションを学校の教育現場で美術鑑賞教育促進の
ために活用するべく、様々なプログラムを行なっています。

【問い合わせ先】

船橋市教育委員会生涯学習部文化課（担当：山本、益子）

住所：〒273-8501 船橋市湊町 2 丁目 10 番 25 号

TEL：047-436-2894 FAX：047-436-2884

E-mail：bunka@city.funabashi.lg.jp

教育委員会文化課では、美術担当学芸員の専門的な知見を活かし、小中学校の生徒を対象に、所蔵作品を活用した美術教育活動を行っています。これらの活動を通して、子どもたちに市ゆかりの美術と文化を学び、親しむ機会を提供します。

美術鑑賞については、新・学習指導要領（図工）に、「指導に当たっては、思考力、判断力、表現力を育成する観点」を重視し、「感じたことや思ったこと、考えたことなど、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を充実すること」とその目的が記載されています。美術作品を前に友達や先生と対話しながら意味を読み解いていく「対話型鑑賞」や「アートカード」を使った授業はその目的をかなえる教授法になります。

以下に船橋市所蔵作品を活用した美術鑑賞教育のプログラムを紹介いたします。実施にあたっては学校現場のニーズに応じた内容を考えます。学年・学級単位、またクラブ活動等でお気軽にご利用ください。

① 船橋市出張美術展の開催

～児童・生徒たちに“本物の絵画”を通じた美術鑑賞を楽しんでもらいます～

船橋市出張美術展は、児童・生徒たちに本物の絵画を通じて美術への関心を持ってもらうため、身近な学校や公民館を会場に、所蔵作品の展覧会を開催します。

- ・ 学校の多目的室や公民館講堂等で1日限りの所蔵作品展を開催します。
- ・ 船橋市ゆかりの美術家の作品を展示し、地域の芸術文化に親しむ機会を提供します。
- ・ 学芸員による出張授業（「対話型鑑賞」、「ふなばしアートカード」など）を事前に実施し、美術鑑賞の楽しみ方、作品を見る視点を学びます。
- ・ 美術館でのマナーを学び、文化財への関心を高めます。
- ・ ワークシートを作成します（鑑賞授業の成果物になります）

【実績】

平成 29 年度 船橋小学校 「船橋市出張美術展～椿貞雄の《赤富士》が船橋小学校に帰ってくる」展

平成 31 年度 北部公民館×豊富小学校、豊富中学校（予定）



平成 29 年船橋市出張美術展（船橋小学校）

【船橋小学校の生徒／教師のコメント】

「めったに見られない作品を、近くで見れたし、みんなと意見交換をしてそういう考え方もあるんだと思いました。もっと鑑賞したかったです」（5年生）

「いろいろな絵があって楽しかった。ペちゃくちゃタイムはいろんなことを話した。じっくりタイムではいろんなことに気づいた」（4年生）

「通常の鑑賞の授業では静かにするようと言っていたので、『話してよい』経験は貴重。話せた生徒も話せなかった生徒も満足感があった」（小学校教師）

② 学芸員による対話型鑑賞の授業の実施（学芸員による出張授業）

～対話を通じて“美術鑑賞の楽しみ方”を学ぶ特別授業を実施します～

対話型鑑賞の授業では、先生や学芸員から作品についての知識や情報などを一方的に聞くのではなく、生徒が主体的に「みて」「かんがえて」「はなす」「きく」「はっけん」することをキーワードに、描かれたものから作品の意味を探るグループワークをおこなうことで、美術鑑賞の方法を学びます。

- ・ 学芸員がファシリテーターになり、各グループ 10～15 名の生徒とともに対話を深めていきます。
- ・ 所蔵作品の複製画（パネル）を鑑賞します。
- ・ 1 時限で、2 作品の対話型鑑賞とワークシートの作成を行います。
- ・ 鑑賞文などのワークシートを作成します。（鑑賞授業の成果物になります）
- ・ 対話型鑑賞の授業を出張美術展や所蔵品展見学会の事前授業としても行います。

【平成 30 年度 実績】

宮本中学校（2 年生）、法典小学校（5 年生）、湊町小学校（6 年生）

【生徒の感想、教師のコメント】

「一枚の絵を見ただけなのに、こんなに物語が想像できるなんてすごいと思いました。美術館に行きたいと思いました。」（5 年生）

「普段、教科書の中の小さな絵しか見たことがない児童が多かったので、大きな 1 枚の絵に出会った喜びを感じられたようで、図工・美術を見るのが好きになるきっかけになったのではと思います」（小学校教師）



学芸員による対話型鑑賞の授業（宮本中）

③ ふなばしアートカードの貸出

～アートカードとは、美術作品のポストカードを活用した鑑賞のための教材です～

「ふなばしアートカード」は所蔵作品の中から船橋ゆかりの作品や名画など 30 点をカードにした、オリジナルの美術教材です。カードを使ったアクティビティを通して、作品を「見る、考える、話す、聞く」の言語活動を促し、楽しく美術鑑賞の基礎を学べます。

- ・ 学校などの教育機関への無料貸し出しを行っています（送料無料）
- ・ 授業での活用法やアクティビティの方法を紹介するガイドがついています。
- ・ 学芸員による出張授業も行います。ご相談ください。

④ その他

★研修会への協力／対話型鑑賞など鑑賞教育の講義、船橋市所蔵作品の紹介など

★所蔵作品展の見学会の受入／部活、グループでの鑑賞ガイドをします

平成 30 年度 船橋市の美術振興活動について (報告)

【西図書館】「椿貞雄と岸田劉生の日本画の世界」

展 平成 30 年 7 月 13 日～8 月 5 日 (23 日間)
市所蔵作品の展覧会を実施しました。



アーティストによるワークショップ

「墨で“表現”してみよう！」(7 月 22 日)

【西図書館】展にあわせて、アーティストによる親子向けワークショップを開催しました。

講師：荒井恵子 (アーティスト)



美術鑑賞講座

学芸員による展覧会のスライドトーク (解説講座)を開催しました。

【西図書館】7 月 29 日

「船橋ゆかりの画家・椿貞雄について」

【市民ギャラリー】12 月 16 日「船橋の洋画家たち」

ギャラリートーク

【西図書館】展で学芸員によるギャラリートークを開催しました。(7 月 20 日、27 日、8 月 3 日開催)

ワークシートの作成

【西図書館】展に合わせて、小学生向けワークシートを作成し配布しました。

【市民ギャラリー】「船橋の洋画家たち」展

平成 30 年 12 月 11 日～16 日 (6 日間)
船橋ゆかりの画家の企画展を開催しました。



赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー (12 月 14 日)

【市民ギャラリー】展の開催に際し、0～4 歳児とその保護者対象とした美術鑑賞ツアーを開催しました。

講師：富田めぐみ (NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会理事)



美術フォーラム

「美術鑑賞がもたらすカとは」(12 月 15 日)

美術教育の専門家を招き、学校と美術館の連携事業の事例を紹介し、美術鑑賞の可能性をテーマにディスカッションしました。

講師：

奥村高明 (日本体育大学児童スポーツ教育学部教授)

永山智子 (佐倉市立美術館学芸員)

山本雅美 (船橋市教育委員会学芸員)

学校連携事業

- ・対話型鑑賞の授業の実施
- ・市教研での教員向け研修
- ・部活動での所蔵作品展見学会の実施 など

ふなばしアートカードの作成

ふなばしアートカード (パイロット版) を製作し、市教研や学校等で活用しました。